

アート＆ライブラリー みんなのKICHI

叶と機知があふれる基地



春号

『みんなのKICHI』ができる
3つのこと。

●アートワークショップ

絵を描いたり、段ボール工作をしたり。手を使って発想を形にするものづくり。アートといえども図工だけでなく、言葉で表現する作文教室、詩の朗読時間なども開催します。ゲスト講師は横須賀をはじめ、さまざまな地域から招いた作家とタッグを組んで、子どもたちのアイデアに火をつけます。



●ライブラリートーク

書籍を執筆する作家やフィルムで表現する映像作家、美しい音楽を奏でるミュージシャン、教育問題に取り組む研究者、自然界の知識を伝授する文化人、エンタメ業界を牽引する落語家などをゲストに、テーマをもとに語り合うトークイベントを行う他、親子で楽しめる豊かな時間を共有します。



●はなしができる

学校のこと、保育園や幼稚園のこと、発達が気になるなど。相談というほど悩んではいないけれど……という話でも大丈夫。保育士をはじめ子どもの育ちに携わっているプロが親身にお聞きます。保護者の方だけでなく、お子さんが直接お話しに来てくれても歓迎です。



※初年度は固定の場所ではなく、公共施設など市内を巡ります。随時予定はwebにアップします。

みんなのKICHIは、令和8年度こどもの居場所づくり支援体制強化事業に係るNPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業の国庫補助協議の結果、採択されました(こども家庭庁より)。主体は横須賀市、マザールは企画運営を担う協業プロジェクトです。
主催:横須賀市 企画運営:有)マザール

『みんなのKICHI』公式サイト
<https://minkichi.jp/>

アート＆ライブラリー
みんなのKICHI



事前予約制！
申し込みフォームはこちら

<https://motheru.jp/evet/minkichi-program/>



マザール

有限会社マザール
〒238-0004 横須賀市小川町19-5 富士ビル3階
✉ minkichi.motheru@gmail.com 🏠 <https://motheru.jp/>
☎ 090-2218-4386



自由な表現には、きっかけが詰まっている。
『みんなのKICHI』に込めた意味

マザールは、『お母さんを社会に混ぜる』をコンセプトに「働くお母さんの食と職を応援する」広告企画会社として2004年に起業し、これまで続けてまいりました。2020年にコロナ禍となり大きな転機を迎え、独学で保育士資格取得。



マザール:あべみちこ

保育園→幼稚園→児童相談所→子育て相談センター→小規模保育園の他、隙間でベビーシッターも200件以上携わり、多くの児童とご家庭を支えてまいりました。そうした現場で経験を積む一方で、マザールの法人として新たに親子が元気になるプロジェクトを何かできないかと構想しつつ試行錯誤してまいりました。

起業22年目となる2026年春。子どもの育ちに困難を抱える家庭をはじめ、学校の枠組みからこぼれてしまっている子どもたちに伴走したいと考え、構想を具体化して動き始めることにしました。

みんなのKICHIは、家や学校以外のサードプレイスという意味の「基地」。そして、集まるみんなに幸運が訪れる「吉」の意味と、「機知」に富む大人がスキルを発揮できる場。そうした意味を掛け合わせた遊び場をつくりたいと考えて、初年度はアートワークショップとライブラリートークの2本立ての企画を展開します。

スケジュールと企画詳細はwebやSNSでチェックできます。どうぞいらしてください。

みんなのKICHI履歴をフォトレポと共にご紹介。

6月からスタートした「みんなのKICHI」は、こどももおとなも夢中になれる企画を展開中。終了したイベントを一部ご紹介します。QRコードから当日フォトレポもご覧いただけます。

📍アートワークショップ



6月7日(日)

横須賀市立青少年会館・
2階 青少年活動コーナー
「壁に海の絵を描こう！」
講師:鈴木ケイナさん

大好評のため第二弾を1月に開催することになりました。また来てね。



7月5日(日)

横須賀市立総合福祉会館・
5階 創作活動室
「新聞の海を泳いでオブジェをつくらう！」
講師:木下美穂さん

新聞の海×段ボール工作でボール作りの企画で遊び尽くしました。



8月23日(日)

横須賀市立総合福祉会館・
5階 創作活動室
「切り絵コラージュで、夏の思い出をつくらう！」
講師:さめさめばんださん

夏休みスペシャル!紙を切り、イメージを形にする楽しさを満喫。

📍ライブラリートーク



6月21日(日)

横須賀市立青少年会館・
3階 会議室
「不登校と教育の未来～学校に行かない選択をしたキミへ～」
ゲスト:矢萩邦彦氏/養田雅之氏

不登校をテーマに、子どもの未来を語るトークセッションでした。



7月19日(日)

横須賀市立総合福祉会館・
7階 第1音楽室
「好きを極める。
～天才の芽を伸ばすチカラ～」
ゲスト:秦万里子さん

即興ソングでピアノを弾きながら歌う秦さんの天才っぷりとトークを堪能。



8月9日(日)

横須賀市立総合福祉会館・
5階 ホール
上映会「はだしのゲンはまだ怒っている」から、平和を考えよう。
ゲスト:込山正徳さん

作品を通じて平和を語る。webでトークセッションの動画もご覧ください。

参加された方から頂きましたお声を一部ご紹介します。

VOICE

・みんなのKICHIを初めて知りました。とてもステキな取り組みだと思います。息子が中学を長く休んでいた頃にあったらよかったと思いました。

(8.9ライブラリートークの感想)
・8月9日という日にとても意義ある企画だと思います。はだしのゲンはマンガも映画も観ましたが、こちらのドキュメンタリー映画は初めてで中3の息子と一緒に観て良かったです。平和への思いをまた強くしました。良いイベントをありがとうございました。

(6.7アートワークショップの感想)
・横須賀市には気軽に遊びに行ける場所が少ないと思うのでそういう場所がもっと増えてほしい。

(7.19ライブラリートークの感想)
・すばらしいご講演と演奏でした。その場で言葉を紡ぎ、その場でメロディーを奏で、そして「どうしたの?」「どうして?」と聞いてあげることだのお言葉に感銘を受けました。ありがとうございました。

(7.5アートワークショップの感想)
・家以外で自分の好きな事をできるところがあると嬉しい。

(6.21ライブラリートークの感想)
・少人数で濃い内容で良かったです。質問に答えてくださり参考になりましたし、少し安心しました。ご著書も読んでみようと思いました。

(8.23アートワークショップの感想)
・もっとレベルアップして上手い切り絵をつくりたい。楽しいことでみんなが繋がれるといい。

熱いおとなが手本となろう。

🔗 ライブラリートーク 無料 1月 JANUARY

1/10
日 横須賀市立青少年会館・3階ホール
「落語会で初笑い 親の背中を子は見てる!？」
14:00～15:30 (開場 13:30)

新年早々お腹を抱えて笑える時間は、落語会でいかがでしょう。今回ゲストにお招きした柳枝師匠は大学卒業後、2006年に春風亭正朝に入門。2021年3月に真打ち昇進「九代目春風亭柳枝」を襲名。2023年度から3年連続で国立花形演芸大賞で金賞受賞し、注目の落語家としてメキメキ頭角を現す師匠です。ぜひ親子でお越しください。



■ ゲスト：春風亭柳枝（しゅんぷうてい・りゅうし）/ 落語家

1981年8月東京都目黒区生まれ。落語協会所属の噺家。2021年3月真打昇進 九代目春風亭柳枝を襲名。2023～2025年度 国立花形演芸大賞金賞。趣味はお絵描き、読書、家族旅行、クラシック音楽、食べ歩き。文化放送「くにもるジャパン極」(2020年)、NHK総合「今夜も生でさだまさし」(2022年)、「桂文枝の演芸図鑑」(2025年)などメディアにも多数出演。TBS Podcast「ママとパパのかしこらぼ」MCも務める。



🔗 アートワークショップ

1/24
日 横須賀市立青少年会館・2階青少年活動コーナー
「壁に海の絵を描こう!」第二弾
11:00～12:30 (開場 10:30)

※汚れてもいい服で参加してください。服も靴も絵の具で汚れます。

昨夏6月に開催しました青少年会館の青少年活動コーナーの真っ白い壁に、思い切り絵を描くイベント。大好評につき再び開催します。今度のミッションは余白(描いていないスペース)にさらに「海の生き物」を描き加えてください。ずーっと残る自分の絵。お絵描き好きの皆さん、ぜひお越しください。
※未就学児から小1、その他必要と思われるお子様には保護者同伴でご参加ください。



■ 講師：鈴木ケイナ

1986年生まれ。ドイツ、ベルリンにて現代美術を学ぶ。アートワークショップユニット「コネルテ」所属。自主企画や各地イベントにて、アートワークショップを行う。保育園、幼稚園、学童などでアートクラスを担当。作家としても活動中。

アート&ライブラリー
みんなの
KICHI

春号の
企画ページは
こちら



創造力を刺激する遊び場です。

🔗 アートワークショップ 2月 FEBRUARY

2/7
日 横須賀市立総合福祉会館・5階創作活動室
「段ボールでお気に入りのオブジェをつくろう!」
11:00～12:30 (開場 10:30)

好きな形に段ボールを切って、貼って、ハトメで留めて。ペイントしたりセロファンつけたり。これを部屋に飾る?それとも外に連れ出す?発想は自由自在。飛行機でも、鳥でも、ビルでも見た事ない動物でも!出来た作品は、影でも遊べちゃうよ。立体物は苦手でも、大丈夫。やさしくコツを伝授します。お気に入りを作ってお家に持って帰ろう!
※未就学児から小1、その他必要と思われるお子様には保護者同伴でご参加ください。



■ 講師：志田文野（しだ・あやの）

神戸市出身、2020年から横須賀市在住。美術大学卒業後、3人の子育てをしながら浦賀の小さなアトリエ「ぶんぶん」毎月第1、第3週末開催。【自分も他人もジャッジしない、好きなことを表現するための場所・子どもが表現したくなった時に自分で来られる場所・保護者が安心して週末に子どもと遊びに来られる場所】を目指し運営している。



🔗 ライブラリートーク 無料

2/21
日 ヴェルクよこすか・6階ホール
「朗読と歌で堪能する、声が拓く未来」
14:00～15:30 (開場 13:30)

昨夏と今春、横須賀でLiveを企画しましたドリアン助川さんをゲストに「みんなのKICHI」初年度を締め括るべく、表現パワー炸裂のステージをお届けします。『動物哲学物語 ナイス実存』や詩集から選んだ作品を中心に、パワー溢れるカンゾーネも挟みでの朗読Liveをお楽しみください。動物や生き物好きなお子様には特にオススメです。トークセッションでは、朗読がもたらす心身への効果についてもお話しいたします。朗読で健康を手に入れましょう。



■ ゲスト：ドリアン助川

1962年東京生まれ。明治学院大学国際学部教授、作家、歌手。早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒。ハンセン病の回復者を主人公にした小説『あん』は、フランス、イギリス、ドイツ、イタリアなど27言語に翻訳されている。2017年、小説『あん』がフランスの「DOMITYS文学賞」と「読者による文庫本大賞(Le Prix des Lecteurs du Livre du Poche)」など、2023年にはリヨン第3大学より「翻訳作品賞」を受賞。2019年、『線量計と奥の細道』が「日本エッセイスト・クラブ賞」を受賞。近著に『幸運であるトムとセリチョウの世界』『青とうずしお』『動物哲学物語 ナイス実存』など。語りと歌のライブを全国で展開している。Podcast「ドリアン助川 ECHOWORDS」を毎週更新中。



🔗 ライブラリートーク 無料

3/21
日 横須賀市立総合福祉会館・5階ホール
上映会『聴く隣人のいるところ』から考える、教育のゆくえ。
14:00～16:15 (開場 13:30)〔上映111分/トーク20分〕

一いま、声はあふれている。けれど、互いの声は届いているだろうかー
舞台は、とある全寮制高校。スマホがない。洗濯も手洗いという不便な環境をあえて選んだ生徒34名と教職員は、共に暮らすために徹底して話し合う。不登校を含む様々な背景をもつ生徒が集まる学び舎で生まれる、対話の時間と歌の記録。
中学2年生の時に「自分をおしころすようになった」と振り返る監督は、この学校の卒業生。一風変わった学校で何を感じたのか。在学中の体験談などもお話しいたします。
今、息苦しい学校生活を送るお子さんは、気づきが得られる作品です。



■ ゲスト：早川嗣（はやかわ・ゆずる）

1987年滋賀県生まれ。愛真高校16期生。和光大学卒業後、東京ビジュアルアーツ映画学科に進学。在学中にトリウッドスタジオプロジェクトで中編映画『金星』(2011)の脚本・監督を務める。テレビニュースの技術職を経て2018年3月から写真家・映画監督の本橋成一が主宰するボレボレイタムス社に勤務。本橋監督の記録映像『人間の汚した土地だろう、どこへ行けというのか』(2020)の撮影・編集・配給。岡野晃子監督のドキュメンタリー映画『手でふれてみる世界』(2022)の編集・配給。当作『聴く隣人のいるところ』では企画・監督・撮影を担う。

